

# 「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」(抜粋版) (平成25年度から29年度までの計画)

## 1. 標準的な認知症ケアパスの作成・普及

- 「認知症ケアパス」(状態に応じた適切なサービス提供の流れ)の作成・普及
- ・平成25～26年度 各市町村において、「認知症ケアパス」の作成を推進
  - ・平成27年度以降 介護保険事業計画(市町村)に反映

## 2. 早期診断・早期対応

かかりつけ医認知症対応力向上研修の受講者数(累計)

平成24年度末見込 35,000人 平成29年度末 50,000人

認知症サポート医養成研修の受講者数(累計)

平成24年度末見込 2,500人 平成29年度末 4,000人

「認知症初期集中支援チーム」の設置

- ・平成25年度 全国10か所程度でモデル事業を実施
- ・平成26年度 全国20か所程度でモデル事業を実施
- ・平成27年度以降 モデル事業の実施状況等を検証し、全国普及のための制度化を検討

早期診断等を担う医療機関の数

- ・平成24～29年度 認知症の早期診断等を行う医療機関を、約500か所整備する。

地域包括支援センターにおける包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の一環として多職種協働で実施される「地域ケア会議」の普及・定着

- ・平成27年度以降 すべての市町村で実施

## 3. 地域での生活を支える医療サービスの構築

「認知症の薬物治療に関するガイドライン」の策定

- ・平成25年度以降 医師向けの研修等で活用

精神科病院に入院が必要な状態像の明確化

- ・平成24年度～ 調査・研究を実施

「退院支援・地域連携クリティカルパス(退院に向けての診療計画)」の作成

- ・平成25～26年度 クリティカルパスについて、医療従事者向けの研修会等を通じて普及。あわせて、退院見込者に必要となる介護サービスの整備を介護保険事業計画に反映する方法を検討
- ・平成27年度以降 介護保険事業計画に反映

#### 4. 地域での生活を支える介護サービスの構築

認知症高齢者数の居場所別内訳	平成24年度	平成29年度
認知症高齢者数	305万人	373万人
在宅介護（小規模多機能型居宅介護等を含む）	149万人	186万人
居住系サービス（認知症対応型共同生活介護等）	28万人	44万人
介護施設（介護老人福祉施設等）	89万人	105万人
医療機関	38万人	38万人

#### 5. 地域での日常生活・家族の支援の強化

認知症地域支援推進員の人数

平成24年度末見込 175人 平成29年度末 700人

認知症サポーターの人数（累計）

平成24年度末見込 350万人 平成29年度末 600万人

市民後見人の育成・支援組織の体制を整備している市町村数

将来的に、すべての市町村(約1,700)での体制整備

認知症の人やその家族等に対する支援

・平成25年度以降 「認知症カフェ」（認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場）の普及などにより、認知症の人やその家族等に対する支援を推進

#### 6. 若年性認知症施策の強化

若年性認知症支援のハンドブックの作成

・平成24年度～ ハンドブックの作成。医療機関、市町村窓口等で若年性認知症と診断された人とその家族に配付

若年性認知症の人の意見交換会開催などの事業実施都道府県数

平成24年度見込 17都道府県 平成29年度 47都道府県

#### 7. 医療・介護サービスを担う人材の育成

「認知症ライフサポートモデル」（認知症ケアモデル）の策定

・平成25年度以降 認知症ケアに携わる従事者向けの多職種協働研修等で活用

認知症介護実践リーダー研修の受講者数（累計）

平成24年度末見込 2.6万人 平成29年度末 4万人

認知症介護指導者養成研修の受講者数（累計）

平成24年度末見込 1,600人 平成29年度末 2,200人

一般病院勤務の医療従事者に対する認知症対応力向上研修の受講者数（累計）

新規 平成29年度末 87,000人